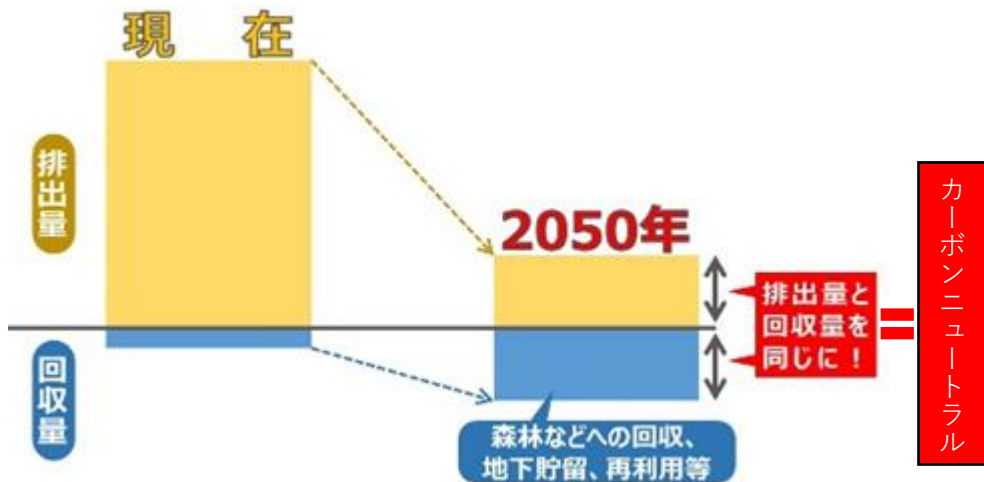


1. 温室効果ガス削減目標

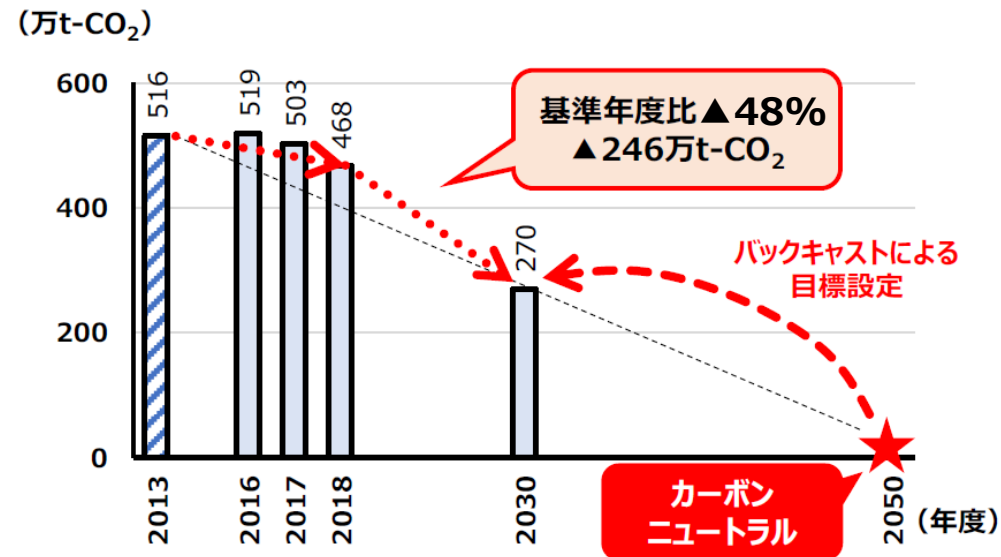
- 国は、「地球温暖化対策計画」（2021年10月閣議決定）の中で、2030年度の温室効果ガス排出量の46%削減（2013年度比）、2050年までのカーボンニュートラル（脱炭素）を目標としています。
- 本市においては、「千葉市地球温暖化対策実行計画」（2023年3月策定）の中で、2030年度の市域の温室効果ガス排出量の48%削減（2013年度比で産業部門を除く）、**2050年までの市域のカーボンニュートラル（脱炭素）**を目標に掲げています。

＜カーボンニュートラル（脱炭素）とは＞

温室効果ガスの排出を実質ゼロとすることを指します。



＜千葉市の温室効果ガス排出削減イメージ＞



2. 脱炭素先行地域



脱炭素先行地域とは

- 地域脱炭素ロードマップに基づき、**2025年度までに少なくとも100か所の脱炭素先行地域を選定し、脱炭素に向かう地域特性等に応じた先行的な取組実施の道筋**をつけ、**2030年度までに実行**
- 農村・漁村・山村、離島、都市部の街区など多様な地域において、**地域課題を解決し、住民の暮らしの質の向上を実現**しながら脱炭素に向かう取組の方向性を示す。

脱炭素先行地域とは

民生部門（家庭部門及び業務その他部門）の電力消費に伴うCO2排出の実質ゼロを実現し、運輸部門や熱利用等も含めてその他の温室効果ガス排出削減も地域特性に応じて実施する地域。

$$\boxed{\text{民生部門の電力需要量}} = \boxed{\text{再エネ等の電力供給量}} + \boxed{\text{省エネによる電力削減量}}$$



スケジュール

| | 第1回選定 | 第2回選定 | 第3回選定 | 第4回選定 | 第5回選定 | 第6回選定 |
|------|------------------------|------------------------|-----------------------|------------------------|------------------------|-------|
| 募集期間 | <2022年> 1月25日～2月21日 | <2022年> 7月26日～8月26日 | <2023年> 2月7日～2月17日 | <2023年> 8月18日～8月28日 | <2024年> 6月17日～6月28日 | 未定 |
| 結果公表 | 4月26日 | 11月1日 | 4月28日 | 11月7日 | 9月27日 | 未定 |
| 選定数 | 26 (提案数79) | 20 (提案数50) | 16 (提案数58) | 12 (提案数54) | 9 (提案数46) | - |

千葉県選定

3. 千葉市の脱炭素先行地域事業

約100か所に導入を予定
(R2～R4で140施設導入済み)

○グリーン・レジリエント・コミュニティ（市有施設＋民間施設）

市有施設等に太陽光発電設備と蓄電池を設置するとともに、清掃工場のごみ発電電力を有効活用することで、再生可能エネルギーの地産地消や災害時のレジリエンス向上を図ります。



○グリーン・ZOOエリア（動物公園地区）

動物公園への太陽光発電設備やバイオマスボイラー導入やモノレール動物公園駅舎の脱炭素化、周辺地域における環境負荷の少ない住宅（ZEH）開発により、快適な住環境を整備し、定住人口の増加を目指します。

○グリーン・MICEエリア（幕張新都心地区）

MICE施設やイオンモール等で開催されるイベントの脱炭素化を進めるほか、市補助金を活用したMICE誘致により、交流人口の増加や地域経済の活性化に取り組みます。